

# 中期経営計画

(2022年度～2026年度)

鹿児島島空港ビルディング株式会社



～安全・安心に優しさをそえて～

# 地域創生の拠点空港

首都圏とアジアの成長を鹿児島の活力へ

当社は、公共性の高い空港ターミナルビルを運営する社会的な使命を担い、お客様のニーズを最優先に安全で快適な施設とサービスを提供し、航空ネットワークの充実を図るとともに、一層の経営効率化に取り組みながら鹿児島の発展を支える「地域創生の拠点空港」を目指してまいります。

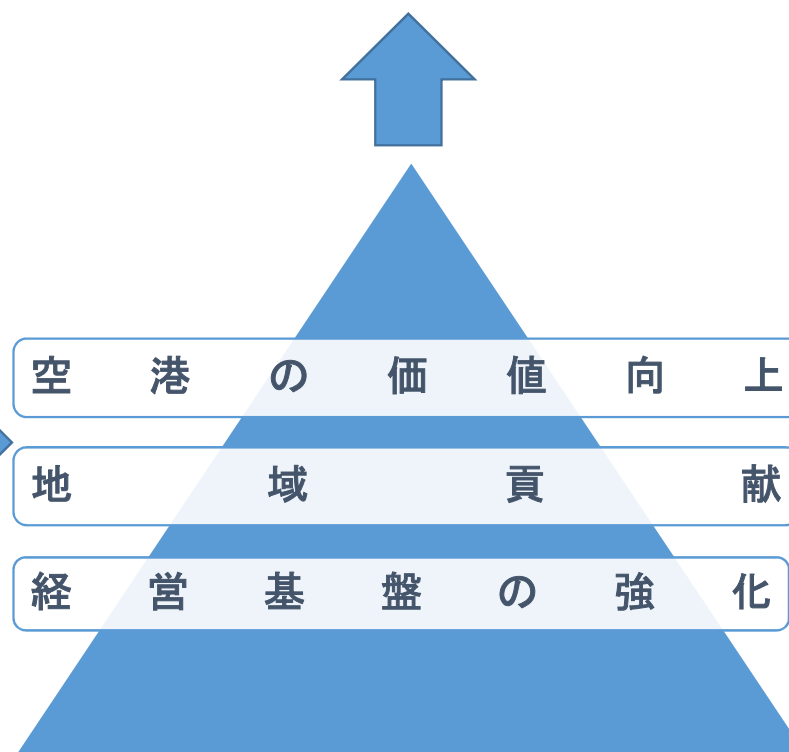
## 乗降客数、営業収益の目標

		2019年度 実績	2026年度 目標
路線	国内線	17路線	18路線
	国際線	4路線	9路線
乗降客	国内線	544万人	578万人
	国際線	33万人	52万人
営業収益		2,820百万円	3,178百万円

～安全・安心に優しさをそえて～

## 地域創生の拠点空港

首都圏とアジアの成長を鹿児島の活力へ





- 1 安全・安心にお客様が利用できる空港づくり
- 2 地域との共生・共栄の空港づくり
- 3 航空ネットワークの拡充への取り組み強化
- 4 持続的成長に向けた経営基盤の強化

# 基本方針と方向性

基本方針	方向性
1 安全・安心にお客様が利用できる空港づくり	安全・安心の追求は、当社の最大の使命であり、感染症対策やお客様満足の上を目指し、安全に安心して利用できる施設運営に努める。
2 地域との共生・共栄の空港づくり	世界自然遺産を有するなど、本県の特徴ある離島・離島空港との連携を図るとともに、鹿児島の文化・歴史・自然・観光・特産物の情報発信を行い、地域とともに発展する空港を目指す。
3 航空ネットワークの拡充への取り組み強化	県の将来ビジョンを踏まえ、路線や乗降客数の早期回復と更なる充実・強化、貨物輸送の拡大を図る。 併せて、県や観光連盟等の関係機関との連携を図りながら、エアポートセールスを積極的に展開する。
4 持続的成長に向けた経営基盤の強化	地域創生の拠点空港を目指すために、まずは会社の経営基盤の強化に向けて業務の効率化、コスト削減、新規分野の開拓、収益力の強化を進め、財務体質の改善を図るとともに、人材育成、2030年カーボンニュートラルの達成やSDGsの取り組みについても積極的に進める。

# 基本方針に基づく主要施策

基本方針	主要施策
1 安全・安心にお客様が利用できる空港づくり	<ul style="list-style-type: none"><li>①感染症対策の徹底</li><li>②安全で安心に利用できる施設の整備と運用</li><li>③危機発生時における対応マニュアル等のさらなる高度化</li><li>④二次交通の充実と駐車場の受入能力強化</li><li>⑤お客様満足(CS)の向上</li></ul>
2 地域との共生・共栄の空港づくり	<ul style="list-style-type: none"><li>①離島との連携強化とターミナル機能整備</li><li>②地域観光資源・農産品等を活用した新たな取り組み</li><li>③市町村や観光協会等との連携による地域に根差した取り組み</li><li>④広域災害時の防災拠点空港としての機能強化(レジリエンス)</li><li>⑤SNS・ホームページ等のデジタルコンテンツを活用した情報発信強化</li></ul>
3 航空ネットワークの拡充への取り組み強化	<ul style="list-style-type: none"><li>①国際路線誘致に向けたエアポートセールス</li><li>②国内路線・県内離島路線ネットワークの強化・充実</li><li>③物流・輸出入を支える貨物地区の機能強化</li><li>④ビジネスジェット専用施設の利用促進</li><li>⑤教育旅行をはじめとした空港利用促進策の強化</li></ul>
4 持続的成長に向けた経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"><li>①組織横断的な人材育成への取り組み</li><li>②業務の効率化</li><li>③新規分野の開拓を含む収益力の強化と財務の改善</li><li>④カーボンニュートラルの推進</li><li>⑤SDGsの取り組み</li><li>⑥DXの推進</li><li>⑦働きがいのある・働きやすい職場環境づくり</li></ul>